

「聞く」の理解

- ・ 主要要因（学習のレディネス）の項目：聴知覚、注意、見通し理解、概念化、空間把握、メタ認知
- ・ アセスメントの観点：音、単語、話しの聞き取り、意味理解

○音、単語、話しの聞き取り

- ・ 雑音環境

授業中、集中しきれていない、キョロキョロしていることが多い等



図と地の弁別

- ・ 黒板にチョークで書く音、友達の話し声など：地（背景）と捉えることであまり気にならなくなる。
- ・ 先生の声：図（注目すべきもの）として捉えることで聴き取ることができる。

考えられる主な背景：音環境における図と地の弁別、選択注意、持続的注意

音環境における図と地の弁別ができている⇒カクテルパーティ効果

○注意集中：説明や指示をしている先生に注意を向ける⇒選択的注意

話を聞き続ける⇒持続的注意

○音韻の同定：ターゲット音を聴きとれるかどうかで、音韻のどうていができているかどうかをみる。

（「た」という音の入っていることばが聞こえたら教えて下さい）

聴覚弁別：聴覚的に似ている言語音を並べて提示し、同じかどうかを判断していくことで音韻の違いをつかめているかをみる。

○聞き洩らし、聞き間違い、聞き返し：選択的注意の問題、持続的注意の問題、聴覚的短期記憶

- ・ 聴覚的短期記憶が関係する場合

聞き漏らし：水筒で記憶の容量がいっぱいになってしまっていてそれ以上覚えていられなかった。

聞き間違い：語彙辞書から照合する際に間違えてしまった。

○内容理解：注意集中、聴覚的短期記憶、概念化

- ・ 概念化：話を聞くだけでなく、内容を整理したり再構成したりして聞く。

情報の再構成＝概念化

文の情報に「間違いはないかな」と探す選択的注意力と最後まで続ける持続的注意力